

発掘調査報告書

書名	年度	内容	頁数	重量 厚み	定価	版形
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第1集 「御用地遺跡」	平成8年	市域北部の縄文晩期・古墳時代後期～奈良時代・中世の集落址の調査報告書。	230頁	1030g 1.6cm	2,000円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第2集 「小藪遺跡・東端貝塚・寺下貝塚」	平成9年	縄文時代晩期・古墳時代後期(小藪遺跡)、縄文時代晩期・中世の貝塚(東端貝塚、寺下貝塚)の調査報告書。	102頁	455g 0.8cm	1,100円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第3集 「桜林遺跡」	平成9年	二子古墳の南に接する部分の調査報告書。弥生時代後期～古墳時代前期の土器集積、古代の墨書土器、祭祀関連遺物などが出土。	203頁	800g 1.2cm	1,800円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第4集 「本神遺跡」	平成10年	碧海台地東縁部に作られた弥生時代後期の環壕集落址。環壕内より多量の欠山式土器が出土。	152頁	650g 1.2cm	1,600円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第5集 「石川丈山邸址」	平成10年	江戸初期の文人、石川丈山が幼少期に過ごしたと伝えられている中世城館跡の調査報告書。	92頁	435g 0.7cm	1,200円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第6集 「中狭間遺跡」	平成11年	古井遺跡群の一角に位置する弥生時代後期～古墳時代前期を中心とする遺跡で、多数の外来系土器が出土。	206頁	770g 1.3cm	2,600円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第7集 「安祥城址 寒池遺跡 郷裏遺跡」	平成11年	市内3遺跡の緊急発掘調査の報告書。中世城館址の安祥城址、中世集落址の寒池遺跡、別郷廃寺に関連すると思われる郷裏遺跡を収録。	76頁	360g 0.6cm	1,100円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第8集 「釈迦山遺跡」	平成12年	本神遺跡に隣接する遺跡。弥生時代後期を中心とした土器のほか、多数の木製品が出土した。	186頁	800g 1.4cm	2,000円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第9集 「古井堤遺跡 二夕子遺跡」	平成13年	いずれも古井遺跡群の一角に位置する遺跡で、弥生時代中期～古墳時代前期の遺物を中心にして出土。	201頁	690g 1.2cm	1,800円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第10集 「鹿乗川流域遺跡群」	平成13年	鹿乗川流域遺跡群内において行われる県営ほ場整備事業に先立つ範囲確認調査の報告書。弥生時代後期～古墳時代前期の土器を中心に出土。	112頁	500g 0.9cm	1,600円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第11集 「宮下遺跡」	平成14年	古井遺跡群のひとつである弥生時代中期から古墳時代前期の遺跡。多数の土器とともに、木製品、墨書土器、人面文土器片が出土。	140頁	615g 1.1cm	1,600円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第12集 「寺領廃寺」	平成16年	奈良時代後期～平安時代後期にかけての古代寺院の発掘調査報告書。金堂跡・講堂跡・塔跡と共に多くの瓦片が出土。	208頁	920g 1.5cm	1,700円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第13集 「鹿乗川流域遺跡群」	平成16年	鹿乗川流域遺跡群内における県営ほ場整備事業に伴う発掘調査の中で、平成10年度調査分の報告書。弥生後期を中心として多くの土器片が出土。	242頁	1030g 1.7cm	2,000円	A4縦

書名	年度	内容	頁数	重量 厚み	定価	版形
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第14集 「姫下遺跡 大畑遺跡 長先遺跡」	平成 16年	市内遺跡の緊急調査報告書。 大畑遺跡においては、灰釉陶器と共に鍛冶遺構と思われる土壌や鉄滓が出土。	69頁	350g 0.6cm	1,000円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第15集 「鹿乗川流域遺跡群」	平成 17年	鹿乗川流域遺跡群内における県営ほ場整備事業に伴う発掘調査の中で、平成10年度調査分の報告書。弥生中期～後期を中心として多くの土器片が出土。	410頁	1410g 2.1cm	4,000円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第16集 「亀塚遺跡」	平成 17年	鹿乗川流域遺跡群の南方の一角を占める亀塚遺跡の1次と3次の調査報告書。桜皮巻土器(県指定文化財)など弥生期から近世にかけて多くの遺構、遺物を発見。	116頁	530g 0.9cm	1,600円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第17集 「鹿乗川流域遺跡群」	平成 17年	平成10年度に実施した鹿乗川流域遺跡群内における県営ほ場整備事業に伴う発掘調査報告の完結をみる。弥生時代中期から近世にかけて多くの遺構、遺物を発見。	246頁	1090g 1.7cm	2,300円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第18集 「亀塚遺跡」	平成 18年	1977年に行われた第2次調査の報告書。全国的にも有名な人面文土器(県指定文化財)や南関東系土器などの外来系土器が多く出土。	158頁	710g 1.2cm	1,600円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第19集 「史跡 二子古墳」	平成 18年	矢作川流域で2番目の規模をもつ国指定史跡・二子古墳の範囲確認調査報告書。前方後方墳であり、調査の結果この地域でも最古の古墳になる可能性が高まった。	182頁	850g	1,700円	A4縦 完売
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第20集 「野辺遺跡」	平成 19年	1972～1973年に行われた調査。弥生後期、古墳後期～古代の溝が検出され多量の土器等が出土。弥生前期の伊勢系の垂流遠賀川式土器なども出土している。	118頁	544g 0.9cm	1,500円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第21集 「鹿乗川流域遺跡群」	平成 19年	平成11年度に実施した県営ほ場整備事業に伴う発掘調査報告書。弥生時代中期～古墳時代中期の遺構・遺物を検出。日本で最古級とされる横櫛も出土している。	490頁	2050g 3.2cm	3,500円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第22集 「堀内貝塚」	平成 20年	昭和2年の調査を皮切りに5次にわたる調査が行われ、それらの成果全てを報告。特に平成7～8年に行われた5次調査では縄文時代晩期の墓域が確認され、東海地方の墓制研究に必携の報告書。	456頁	1560g 2.3cm	3,000円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第23集 「鹿乗川流域遺跡群」	平成 20年	平成12年度に実施した県営ほ場整備事業に伴う発掘調査報告。弥生時代後期～古代にかけての多数の遺構・遺物を検出。	336頁	1180g 1.8cm	2,000円	A4縦

書名	年度	内容	頁数	重量 厚み	定価	版形
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第24集 「山崎遺跡 山崎城址」	平成 21年	昭和 41・42 年に実施された山崎城址の範囲にある山崎遺跡の発掘調査と、昭和 43 年に大半が滅失した山崎城址の測量調査を再報告。	94頁	450g 0.8cm	1,200円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第25集 「別郷廃寺 河原遺跡 向田遺跡」	平成 21年	市内3遺跡の平成 12 年度に実施した試掘調査の報告書。古代寺院跡である別郷廃寺、古代の墨書土器が出土した河原遺跡、鹿乗川流域で新規発見された向田遺跡を収録。	70頁	350g 0.6cm	1,000円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第26集 「鹿乗川流域遺跡」	平成 22年	平成 13・14 年度県営ほ場整備事業による調査報告書。これまでの鹿乗川流域遺跡群の調査成果から時期別の集落動態を明らかにした一冊、必見です。	423頁	1520g 2.3cm	2,400円	A4縦
安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第27集 「史跡 姫小川古墳」	平成 22年	国指定史跡姫小川古墳の墳丘範囲確認調査。後円部には幅 10m前後の周溝が巡り、墳丘規模も 65m程度前方後円墳と判明しました。三河における前期古墳を考えるには必読書です。	151頁	622g 0.9cm	1,500円	A4縦